

令和3年度 国語科

教科	国語	科目	国語総合	単位数	4単位	年次	1年次
使用教科書	高等学校「明解国語総合（改訂版）」（三省堂）						
副教材等	実践文字力トリプルチェック（尚文出版） プレミアムカラー国語便覧（数研出版）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・この授業では様々な文章を「読む能力」に加え、自分の考えや思いを表現するための「話す・聞く能力」および「書く能力」の基礎的な部分を身に付けます。
- ・古典の時間では、有名な古文と漢文の作品に親しむとともに、内容を理解するために必要な語彙力や文法の知識を身に付けます。
- ・毎回の授業を大切にし、提出物の期限等は必ず守りましょう。
- ・定期考査は毎回の授業内容から出題されます。計画的に学習に取り組みましょう。

2 学習の到達目標

- ・目的や場にあふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
- ・文章の内容や構成、登場人物の心情を的確に読み取ることができる。
- ・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。
- ・古典を読むための基本的な文語のきまり、訓読のきまりを理解することができる。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観 点 の 趣 旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、表現の仕方を工夫して話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じて、文章の形態や語句を工夫することで、適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章の内容を的確に読み取ったり、人物、情景、心情などの表現に即して読み味わったり、目的に応じて幅広く読み、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評 価 方 法	行動の観察 記述の点検 (ノート、ワークシート等)	行動の観察 (ノート、ワークシートや、発表等のパフォーマンスの評価)	記述の確認及び分析 (ノート、ワークシート等) 定期考査	記述の確認及び分析 (ノート、ワークシート等) 定期考査	行動の観察 記述の確認 (ノート、ワークシート等) 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法	
			a	b	c	d	e			
1学期	自己紹介	【近代以降】 「自分を漢字で表すと？」 (自分を漢字一字で表すとしたらどんな漢字がふさわしいかを考えて、自己紹介として発表し、話し方・聞き方を学ぶ。)	○	◎			○	a:誰に向かって、何のために、どのような条件で話すのかを考えてようとしている。 b:誰に向かって、何のために、どのような条件で話すのかを考えている。 e:話すことに必要な文の組み立てについて理解している。	abe 行動の観察と確認	
	随筆	【近代以降】 「負け方を習得する」	○				◎	○	a:今までに出会ったことのないような発想や生き方にふれ、自分を変えるヒントを見つけようとしている。 d:筆者の考えを文章の筋道を的確にとらえ理解している。 e:漢字などについて、正確に理解し、知識を身につけている。	a 行動の観察 de 記述の確認、定期 考査
	小説	【近代以降】 「とんかつ」 「オムライス」	○				◎	○	a:作中の表現から登場人物の心情や変化を読み取ろうとしている。 d:作中の表現から登場人物の心情や変化を読み取っている。 e:語句や比喩的な表現を正確に理解している。	a 行動の観察 de 記述の確認、定期 考査
	評論	【近代以降】 「水の東西」	○				◎	○	a:対比的表現に着目して、筆者の考えを読み取るようとしている。 d:対比的表現に着目して、筆者の考えを読み取っている。 e:漢字などについて、正確に理解し、知識を身につけている。	a 行動の観察 de 記述の点検、定期 考査

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	詩	【近代以降】 「シリウス」 「シジミ」	○		◎	○	○	a: 詩を読んで感じ取ったことを、実体験などをふまえながら書こうとしている。 c: 詩を読んで感じ取ったことを、実体験などをふまえながら書いている。 d: 文章から感じ取ることができる発想の豊かさ、構成や展開の工夫、表現の特色などを捉えている。 e: 比喩や表記上の工夫を正確に理解している。	a 行動の観察 cde 記述の確認、定期 考査
	暑中見舞いの制作	【近代以降】 「暑中見舞いを書こう」 (暑中見舞いの書き方のきまりを理解し、友人や教員に向けて制作することを通して、相手や目的に応じた書き方を学ぶ。)	○		◎		○	a: 相手や目的に応じて題材を選び、文体や語句などを工夫して書こうとしている。 c: 相手や目的に応じて題材を選び、文体や語句などを工夫して書いている。 e: 語句の意味や用法、および表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	ace 行動の観察、記述 の点検
	古文入門、随筆	【古典】 歴史的仮名遣い(いろは歌) 古語の意味と形 用言の活用 古典の響き 「竹取物語」 宇治拾遺物語 「児のそら寝」 「検非違使忠明」 徒然草 「高名の木登り」 枕草子 「にくきもの」	○			◎	○	a: 場面の展開に注意して、登場人物の気持ちを想像しながら、話のおもしろさを味わおうとしている。 d: 場面の展開に注意して、登場人物の気持ちを想像しながら、話のおもしろさを味わっている。 e: 古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a 行動の観察 de 記述の確認、定期 考査

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法	
			a	b	c	d	e			
2学期	せりふをつける	【近代以降】 「なんて、言っている？」 (写真をよく観察して、想像力をはたらかせ、自分で考えた「せりふ」をつける。なぜその「せりふ」をつけたか発表することを通して、話し方・聞き方を学ぶ。)	○	◎			○	a:題材に応じた「せりふ」をつけ、その「せりふ」をつけた理由を適切な言葉で発表しようとしている。 b:題材に応じた「せりふ」をつけ、その「せりふ」をつけた理由を適切な言葉で発表している。 e:題材の状況や風景、表情などから適切な言葉を探している。	a 行動の観察 be 行動の観察、記述の点検	
	随筆	【近代以降】 「ツゴイネルワイゼン」	○				◎	○	a:本文の構成に着目してできごとを捉え、筆者の思いを読み取ろうとしている。 d:本文の構成に着目してできごとを捉え、筆者の思いを読み取っている。 e:漢字や慣用句を正確に理解している。	a 行動の観察 de 記述の確認、定期考査
	小説	【近代以降】 「バスにのって」	○			◎	○	○	a:登場人物の立場になって、文章を書こうとしている。 c:登場人物の立場になって、文章を書いている。 d:母の入院にまつわる少年の思いの変化を読み深めている。 e:文章の形態や特色について理解している。	a 行動の観察 c 記述の点検 de 記述の確認、定期考査

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
2学期	随筆	【近代以降】 「豊かな仕事言葉」	○	◎		○	○	a:日本語の豊かさに関心を持ち、意味が似ている言葉を比較して共通点や相違点を発表しようとしている。 b:日本語の豊かさに関心を持ち、意味が似ている言葉を比較して共通点や相違点を発表している。 d:文章の構成を整理し、豊かな日本語と仕事言葉に対する筆者の考えを読み取っている。 e:日本語の豊かさに関心を持ち、理解している。	ab 行動の観察 de 記述の確認、定期 考査
	評論	【近代以降】 「届く言葉、届かない言葉」	○			◎	○	a:具体例の内容とそれを示す意図を捉え、筆者の主張を明らかにしようとしている。 d:具体例の内容とそれを示す意図を捉え、筆者の主張を明らかにしている。 e:漢字や慣用句を正確に理解している。	a 行動の観察 de 記述の確認、定期 考査
	短歌・俳句	【近代以降】 「遠い片手」(短歌9首) 「春のオルガン」(俳句12句)	○			◎	○	a:人物の心情や情景などをとらえ、言葉の美しさや深さなどに気づこうとしている。 d:人物の心情や情景などをとらえ、言葉の美しさや深さなどに気づいている。 e:文章の形態の特色について理解している。	ade 行動の観察、記述 の点検

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
2学期	年賀状の制作	【近代以降】 「年賀状を書こう」 (年賀状の書き方のきまりを理解し、友人や教員に向けて制作することを通して、相手や目的に応じた書き方を学ぶ。)	○		◎		○	a: 相手や目的に応じて題材を選び、文体や語句などを工夫して書こうとしている。 c: 相手や目的に応じて題材を選び、文体や語句などを工夫して書こうとしている。 e: 語句の意味や用法、および表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	ace 行動の観察、記述の点検
	古文の物語	【古典】 伊勢物語 「芥川」 「筒井筒」	○		◎		○	a: 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとしている。 d: 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わっている。 e: 語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、古文読解の役に立てている。	a 行動の観察 de 記述の確認、定期考査
	漢文入門、語録	【古典】 訓読のきまり 故事成語 「虎の威を借る」 「蛇足」 論語の言葉 「学問」 「人との関わり」	○		◎		○	a: 人生や人間についての考え方を捉え、自己の問題として考えようとしている。 d: 人生や人間についての考え方を捉え、自己の問題として考えている。 e: 漢文を読むことに役立つ、訓読のきまりを身に付けている。	a 行動の観察 de 記述の確認、定期考査

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
3学期	文学の創作	【近代以降】 「俳句をつくろう」 (俳句を創作して鑑賞し合う活動を通して、表現の多様性を学ぶ。)	○		◎		○	a: 言葉を通して物事の場面や様子を想像できるように書こうとしている。 c: 言葉を通して物事の場面や様子を想像できるように書いている。 e: 創作に必要な俳句の基本的なきまりについて理解している。	a 行動の観察 de 行動の観察、記述の点検
	小説	【近代以降】 「羅生門」	○			◎	○	a: 小説の持つ物語の面白さと語り口の魅力を感じ、人物の心情や情景などをとらえ、果たしている効果について考えようとしている。 d: 小説の持つ物語の面白さと語り口の魅力を感じ、人物の心情や情景などをとらえ、果たしている効果について考えている。 e: 文章の形態や特色について理解している。	a 行動の観察 de 記述の確認、定期考査
	軍記	【古典】 平家物語 「木曾の最期」	○			◎	○	a: 会話の内容と意図を明らかにし、人物のものの見方や生き方を捉えようとしている。 d: 会話の内容と意図を明らかにし、人物のものの見方や生き方を捉えている。 e: 文章の形態や文体による特色について理解している。	a 行動の観察 de 記述の確認、定期考査

	漢詩	【古典】 漢詩の形式 漢詩の世界 「静夜思」 「涼州詞」 「月夜」 「春望」	○		◎	○	a: 文学的な文章を、表現の技法や語句の使い方など書き手の工夫を捉えて読もうとしている。 d: 文学的な文章を、表現の技法や語句の使い方など書き手の工夫を捉えて読んでいる。 e: 押韻や対句などの表現技法について正確に理解している。	a 行動の観察 de 記述の確認、定期 考査
--	----	--	---	--	---	---	--	------------------------------------

- ※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度      b: 話す・聞く能力  
c: 書く能力      d: 読む能力  
e: 知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。